

ぱーとなー

2005年 9月
第46号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

○ **安全・安心・信頼の医療**

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

○ **無差別平等の医療**

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

○ **患者負担の少ない医療**

私たちは室料差額はいただきません

○ **地域とともに歩む専門職の育成**

人権感覚をもつ専門職を養成します

睡眠時無呼吸症候群は軽視できない病気です。

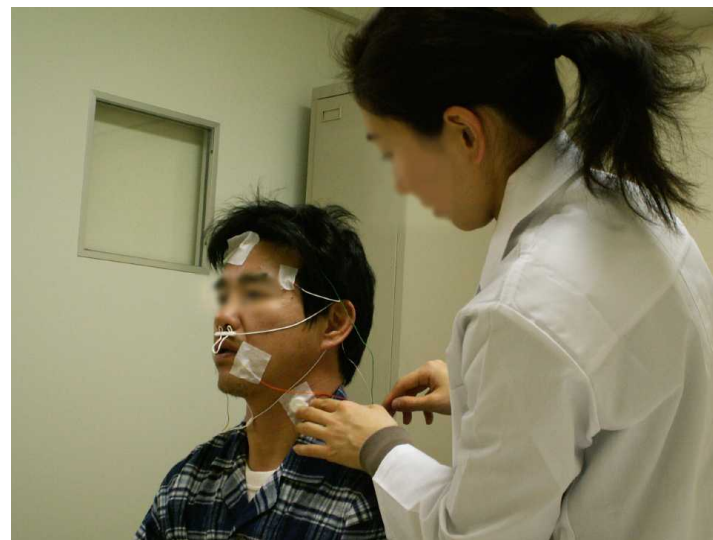
はじめに、睡眠時無呼吸症候群は、最近テレビや新聞記事に登場することも多く、注目を浴び始めています。日本では、大規模な疫学調査が未だなされていないため、有病率についての正確な数字はわかっていませんが、成人男性の4%、成人女性2%と推測されています。多くの場合、肥満体質が原因であると言われていますが、日本では肥満体質であることよりも顎の骨格が狭いことが主な原因と言われ潜在的な患者数は100万人と言われています。

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome以下SASという)とは、寝ているときに上気道の狭窄による無呼吸や低呼吸を伴い、一晚(7時間の睡眠)の睡眠中に10秒以上の無呼吸又は低呼吸が30回以上起こるか、睡眠1時間あたりの無呼吸又は低呼吸(以下AHIという)が5回以上の場合と言われています。また無呼吸を伴うことにより「睡眠の質の低下」(脳波の覚醒)にもつながります。

SASの種類は、閉塞型・中枢形・混合型に分けられますがその多くは「閉塞型」だと言われています。重症度は、AHI 5-15 軽症・AHI 15-30 中症等・AHI 30以上重症と区別されています。

SASは、健康と思われる成人の中にも数多く潜在し、ほっておくと高血圧・不整脈・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞等の循環器疾患、夜間突然死との関連も指摘や日中の眠気による交通事故・労働災害・仕事や学業の能率低下など、極めて重大な社会問題を引き起こすと言われています。

当院では、SASや睡眠障害の診断を行う為に終夜睡眠ポリソムノグラフ検査(以下PSG検査)を1泊入院で実施しています。検査方法は、頭・体・足にセンサーを取り付けて、寝ている間の睡眠(脳波)及び呼吸状態の異常を診断致します。検査時間は、午後6時30分頃から各センサーの取り付



けを行い、午後8時頃から翌朝6時頃までの検査です。検査結果は、約2週間後に外来にてご報告致します。

治療について

SAS治療は、歯科装具による治療(マウスピース)や口蓋垂軟口蓋咽頭形成術(UPPP)や持続陽圧呼吸療法がありますが、第一選択として持続陽圧呼吸装置(nasal Continuous Positive Airway Pressure以下CPAPという)による治療を行います(医療保険適応AHI 20以上)。

CPAP装置・・・鼻マスクを通して送り込む、持続的陽圧空気(喉)の閉塞部を押し広げることにより、イビキや無呼吸・低呼吸を消失させる方法で有効性・安全性が高く最も多く普及しています。

是非、ご利用ください



専用ベットを新設



装着器具

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670
受付時間 月・水・金 午前9:00~午後7:00
火・木 午前9:00~午後5:00
土 午前9:00~午後1:00

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆